

9月9日は救急の日!!

「救急の日」は、救急業務や救急医療について正しい知識と認識を深めるために制定されました。この機会に救急について考えてみましょう。

あなたの勇気が命を救う!
救命講習を受講しましょう!
大磯町消防本部

問消防署 ☎(61)0911

あまり知られていない救急の豆知識

もしも救急車を呼ぶか迷ったら!? 便利なアプリが登場!!

病気やけがをしたときに、救急車が必要なのか判断に困ったら、こんな便利なアプリもあります。

総務省消防庁では、救急車を呼ぶ時の判断や、医療機関などの情報を提供し、状態に応じた必要な対応を支援するためのアプリ「Q助」の運用を開始しました。救急車を呼ぶか、迷った時にお使いください。

▶消防庁ホームページ

http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/filedList9_6/kyukyu_app.html



口頭指導ってなんですか？

救急隊が到着するまでの間に、119番通報を受けた消防職員が電話を通じて適切な応急手当の指導を行います。指導に従って応急手当を実施することで、傷病者の状態を安定させることや、その状態の改善、救命の効果が期待されます。



電話を通じて、応急手当の口頭指導があった場合は、落ち着いてその指導に従って、可能な限り応急手当を実施してください。



Q2 救急車は、なぜ「ピーポー」というサイレン音なのか？

実は救急車も配備された当初は、「ウーウー」というパトカーや消防車と同じ音でした。しかし、この音が搬送される人や周囲の人を不安にさせてしまうことから、少しでも優しい音にするため「ピーポー」となりました。



Q3 救急車の色はなぜ白いのか？

法律により、消防車は朱色（赤）、その他の緊急車両は白色と定められているためです。また、救急車に赤色のラインが入っている理由としては諸説ありますが、「当時、他の医療機関の救急車両と区別するために、同じ組織にある消防車の色をラインで入れた」と言われています。ただ、現在は市町村により赤のラインを使用しない救急車もあります。

子どもの急な病気に困ったら

夜間、お子さんの体調のことでどのように対処すれば良いか、すぐに医療機関にかかる必要があるか判断に迷うことはありませんか。そのようなときは「かながわ小児救急ダイヤル」を利用してください。

▶実施日 毎日

▶相談時間 18時から24時まで

▶電話番号

※携帯電話、プッシュ回線からのご利用の場合 #8000

※ダイヤル回線、IP電話、PHS等 045(722)8000

▶相談内容 お子さんの体調の急変等に関する一般的な助言

▶相談対応者 専任の相談員（看護師等）

※この相談は、助言を行うものであり、電話による診断・治療を行うものではありません。

また、消防署にご相談いただくことも可能です。

